石岡市立東成井小学校
学校だより　１１号
令和５年７月　５日
校長　　石崎　重臣

太郎・次郎

「太郎・次郎」は，校庭にそびえるいちょうの木です

【組織目標】児童が主役　みつけよう　かんがえよう　やってみよう～認める　寄り添う　支える～

みんなのために、誰かのために…！
～5、6年生宿泊学習

6月22日（木）～23日（金）に5、6年生が県立中央青年の家で宿泊学習を行いました。「たくさんの活動を通して友達のよいところを見つけよう　全員の絆を深めよう」というスローガンのもと、5、6年生41名が全員参加で寝食を共にしました。小雨の中の「山ビンゴ」や幻想的だった「キャンドルサービス」、おいしさ倍増だった「カレーづくり」など、学校や家では経験できない「自らの手による活動」を体験することができました。保護者の皆様にはご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

この二日間の活動の中で思いの外、大変だったのが「ふとんたたみ」でした。なかなかうまくたためず「やり直し」になったり、また「ちゃんとやったのに」と納得いかなかったり……。しかし、私たちは「東成井小の仲間のため」だけに協力するのではなく、「次に訪れる人のため」に協力するのだ、ということに気付きました。とても大切なことだったと思います。私たちは何かに取り組むとき、それをやりこなすことだけにとらわれ、「何のためにやるのか」を見失いがちになることがあります。自分のためだけでなく、誰かのために誠心誠意を込めて取り組むことの大切さを、改めて知りました。

「カレーづくり」の片付けのときに「次に使う人のためにきれいにしないとね」とつぶやきながら、飯ごうを懸命に洗っていた児童がいました。よい経験ができた宿泊学習でした。